



編集・発行
 日蓮宗 能勢妙見山
 広報部
 〒563-0132
 大阪府豊能郡能勢町野間中
 電話 072-739-0329
 FAX 072-739-2883

新春のお慶びを申し上げます

世界の平和と皆様のご多幸をお祈りします

本年も『妙乃見山』をおとどけします
 行事のご案内やその謂われ、季節の境内写真などを掲載します
 また仏教の教えに触れていただく法話など
 月に一度ですが、お手に取り読んでいただければ幸いです

【1月の主な行事予定】

☆ 正月歳始祈禱 1日～15日

※ 新年の開運シールを授与します

★ 書き初め写経会 12日(日) 11時

★ 清掃の日 15日(水) 11時～12時

★ 月例祈願法要 15日(水) 13時

妙見様のご縁日祈願法要 開運殿にて厳修

★ 鷓鴣月例祭 22日(水) 15時

【2月の行事予定】

☆ 節分会星祭 2日(日)

一年間の善星皆来・悪星退散を祈ります
 ご祈禱の申し込み受付中です

☆ 国持会くお火焚祭りく 11日(祝) 10時法要

★ 清掃の日 15日(土) 11時

★ 月例祈願法要 15日(土) 13時

★ 鷓鴣月例祭 22日(土) 15時

● 2月の写経会は取りやめます

◎ ご祈禱・御回向等のお申込はFAX・メールでも受け付けています

○ 諸行事は社会情勢により変更する場合があります

◎ 写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい

○ 奉賛会会員は妙見口へお迎えに行きます

詳細は寺務所へお問い合わせ下さい

※ 正月三ヶ日は

信徒専用のシャトルバスがあります

ほそく長く

——日慧

新年を迎え、毎年のごことですが、その年の干支に因んだ御守りを準備します。今年巳年で、蛇がデザインされた御守りです。

ただ蛇というとなぜか敬遠されがちです。

「今年蛇か」

御守り売り場に来た人も見てはいても、手に取ろうという人は他の干支と較べると多くはないようです。

これがウサギ年だと、

「可愛いな、これください」すぐ手に取って求めて行く人が多いのです。

意匠を凝らした御守りを見れば、制作者の工夫と創意が読み取れるのですが、

それでも蛇をデザインした御守りは可愛さの点で言えば、ウサギには及ばないのかもしれない。

巳年生まれの人にとって、面白くないことかもし

れませぬね。でも巳は敬遠すべきものではないのです。そこで今年の干支である巳について述べます。

巳の刻といえば午前十時頃前後二時間ほどを指します。朝起きてから動き出し活動が本格化する頃です。また季節でいえば春から夏にかかる頃。冬ごもりしていた蛇が出てきて動き出す時季なので、巳を当てたのだといえます。

つまり巳というのは、行動や物事が始まる、閉じていた巣穴が開く、ということを表しており、ものの始まり、幕開けという意味があります。敬遠されるどころか、希望に満ちた縁起のよいものではないでしょうか。

また蛇は古来、金運を呼び豊穡を司る神あるいはその眷属として、神聖な生き物とされてきました。運を切り拓く妙見大菩薩の御尊像で、手に蛇を持った姿も

あります。

昨年を振り返り世界に目を向ければ、戦争の拡大が懸念される情勢が続き、日本国内においても元旦に始まる地震や各地に被害をもたらした大雨など自然災害に悩まされた一年でした。世の中が落ち着かず心安まることのない日々。蛇が脱皮するように、これらの災害・災難が抜け落ちて、幸せな世の中がほそく長く続くことを祈念致します。

送迎車のご案内

奉賛会員ならびにご祈祷ご回向にご参拝のご信者様の便宜を図り、能勢電鉄妙見口駅から山上までの送迎車を用意しています。特に正月三ヶ日にはシャトルバスを予定しております。ご希望の方は、必ず二日前までにご連絡願います。但し人数等によりご希望に添えないこともあります。

《法華經に学ぶ現代》

〜純智庵〜

衆生を

人の苦しみを救いたい
悲しむ人を癒やしたい

愍むが故に

そんな願いを持つ故に
悪しきこの世に
生まれ来て

悪世に生まれて

仏は広く法を説く
この世が
明るくなるように

広く此の経を

演ぶるなり

みんなが活き活き
生きるよう
輝くいのちを求めている

『法師品第十』

仏教まめ知識

おみくじ

(御御籤・御神籤)

初詣に行くと、「今年の運勢はどうだろうか？」と、ついおみくじを引きたくなる。

お堂にお詣りした後、竹串の入った匣(はこ)を願い事を祈りながらよく振って、番号の付いた竹串を取り出し、その番号に対応した紙をもらう。これが一般的なおみくじの形式だが、他にも花みくじや馬みくじ、お寺によっては自動販売機のようなおみくじ機などもある。

先行きのことを知りたいのは誰もの願いで、古代の人は、この世を動かしている天の神様のお告げを戴こうと天体を観測し天文学が発達したという。そして天界に君臨する星の王様＝北極星を信仰したのが妙見信仰のルーツだ。

おみくじは吉凶に二喜憂するのではなく、凶であっても仏の助言として、人生を築くための参考として欲しい。